

チーム医療：緩和ケアチーム

－関係部署－

部 署	スタッフ名
緩和ケアチームリーダー 外科	西谷 暁子
心療内科	松岡 弘道
内 科	清水 勇雄
がん性疼痛看護認定看護師	杉野 幸恵
看護局	高島 麻由美 射手矢 奈津子
栄養管理科	住井 諭美 宇野 妙子
薬剤科	中川 直樹 射手矢 弥生 安井 結香里 西村 亜希子 若林 里絵
リハビリテーション科	藤野 文崇 石田 恭子 藤田 将敬

－概要－

2007年、厚生労働省の定める『がん対策推進基本計画』にて、すべてのがん診療に携わる医師が研修等により、緩和ケアについての基本的な知識を習得することが目標に掲げられた。2008年、医師に対する緩和ケアの基本的な知識等を習得するための研修会に関する健康局長通知『がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会の開催指針』が出された。

さらに、2012年6月、がん対策推進基本計画では、『関係機関などと協力し、3年以内にこれまでの緩和ケアの研修体制を見直し、5年以内に、がん診療に携わる全ての医療従事者が基本的な緩和ケアを理解し、知識と技術を習得することを目標とする。特に拠点病院では、自施設のがん診療に携わる全ての医師が緩和ケア研修を修了することを目標とする。』とされた。

このように、緩和ケアはすべての医療従事者に求められる基本的知識とされている。

緩和ケアチームでは、チームリーダー 外科 西谷を中心に、心療内科および内科医師、がん性疼痛看護認定看護師、および栄養管理科、薬剤科、リハビリテーション科など多職種のスタッフが協力して、院内の緩和ケア推進に努めている。

具体的な活動として、週1回、院内緩和ケアチーム回診を行っている。入院がん患者さんについて、各診療科からの介入依頼をもとに、チームでの多角的なカンファレンスを行い、各病棟スタッフとも連携して回診を行う。身体および精

神面から全身を評価し、疼痛をはじめとした身体症状のマネジメントや精神面でのサポートおよびケアについて提案している。また、外来では心療内科医が、がん患者さんの精神面でサポートする体制を取っている。さらに、あらたにがん看護外来を開設し、がん性疼痛看護認定看護師 杉野が担当している。

また、緩和ケアに関する啓発・普及にも積極的に取り組んでいる。第一に、大阪府がん診療拠点病院として、年1回、厚生労働省の定める指針に基づき、緩和ケア研修会を開催している。2014年度研修会は院内外より多職種31名が参加し、2日間の日程で行った。第二に、当院独自の取り組みとして、院内外の緩和ケアに携わる多職種を対象にした緩和ケア講演会を年2回開催している。

今後は、がん患者さんが少しでも安楽に過ごせるように、院内での緩和ケアを推進し、スタッフの意識向上に努めたい。また、がん診療拠点病院・急性期病院として地域連携をすすめて、地域の各方面とも関係を構築していきたい。

－実績－

- ・院内緩和ケアチーム回診 1回/週
- ・2014年6月11日 第10回りんくう緩和ケア講演会 開催『サイコオンコロジーと緩和ケア』
講師：近畿大学医学内科学腫瘍内科部門
心療内科分野 教授 小山 敦子 先生
- ・2014年5月17・18日 第6回りんくう緩和ケア研修会 開催
企画責任者：りんくう総合医療センター 外科 西谷暁子
- ・2015年1月21日 第11回 りんくう緩和ケア講演会 開催『漢方薬を用いた緩和医療の治療戦略』
講師：日本生命済生会附属日生病院
麻酔・緩和医療科 部長 川原 令子 先生

